

山行番 NO. 1663
日時 2015. 11. 22 (土) 無風・快晴・高温
山域 南ア前衛・七面山 (三角点=1983m、南の最高峰=1989m) ~希望峰1980m

コース・ 下土狩5:00—第二東名—清水IC—角瀬 (すみせ) —白糸の滝—登山開始7:00—神力
タイム 坊—和光門9:28—敬慎院9:33—大ガレー七面山10:23—最高峰10:38—希望
峰10:50—希望峰再登—七面山再登11:45~12:23—敬慎院12:56~13:
09—登山口14:59—白糸の滝—下土狩17:00

標高差 上り=白糸の滝登山口約500m~七面山南最高峰1989m=約1489m
下り= //

参加者 後藤、勝又陽、浜道、秋山、沖=5名

「ナナイタ (七面) ガレは、700年以上も崩れ続けている大ガレだ」

連休の天気模様で 急に日曜日の青スズ台から 土曜日の七面山に変更。

七面山とは山岳信仰の一つ法華経の聖地で、日本200名山のひとつである。日蓮上人が入山した身延山久遠寺に属する敬慎院に祀られている七面大明神を多くの信者が登詣されるようだ。その道程が苦行の修行の道で祈りの道だそう。

それを知り、山行計画の七面山 (1983m) と表参道登山口 (500m) の標高差 1400mに躊躇してしまった。富士登山より長い! 山頂まで4~5時間上り続ける。大丈夫かしら?

自信がなかった。CLに伝えた所 歩きやすい道とのこと。半信半疑だった。会の仲間も私と同様に心の準備が出来ていなかったかもしれない。急いで支度をする。

常備品以外に準冬山一式、冬用の目出し帽、帽子、ネックウォーマー、保温用の手袋、防風用の手袋、もちろん上着も忘れずに。出来るだけ軽くしてくるようにと指示があるが、冬物は嵩張る。500gの救急道具はCLにお任せした。永遠の課題の食糧が重い。水1L。今回4~5時間となると行動食になるのかどうか? 計画表では昼食時間を取ってある。

不思議だ。どちらでも対応できるように、稲荷寿司を2個。握りこぶし大のパン、二種類を4個。副食 (ミニトマト、竹輪に胡瓜を入れたもの、揚焼売、茹で卵) と簡単に食べられる形状の食品にした。行動中でもつまめる。結局、今回の山行ではほとんど食べて下山した。あと塩キャラメルと羊羹。梅干し。これを入れたザックが8kgあり、メンバーの中で一番重かった。

私にすれば通常より断然軽いけれど、なぜ一番重かったか分からない。長丁場なので、私は休憩の度、お腹が空いていなくても 食料でエネルギーを補給しないと歩けなくなる。過去に、宝永山まで上がる時辛い思いをしたことがある。

食べたとたん俄然歩いて自分でも可笑しかった。「シャリ切れ (バテ)」と言う言葉を教わった。食に関しては個人差が大きい。メンバーHOさんは空腹が分かりにくいと言う。私も実際、疲れて



神力坊



お坊様



下る信者さん



和光門



Lが一回突いた

いると空腹が分からない時もある。自分を知ることが荷物の軽量化につながる。もっと工夫の余地があると思う。

下土狩 5:00 出発。角瀬から七面山表山道登山口に 6:50 頃到着。車が一杯。滑り込みで駐車できラッキーだった。トイレを済ませ 7:00 登山開始。参道入り口から上がり、駐車場から一気に上がる。どうも参道入り口が一丁目だったようだ。石灯籠には元丁目と書いてあった。五十丁目が敬慎院で信者の方々が目指すお寺だ。

木の階段を上ると間もなく二丁目神力坊、三丁目、四丁目と南北に九十九折になった参道で、とても歩きやすい。木の階段も程よい高さだ。CLの標高差はあるが歩きやすいは本当だった。HOさんは一丁目を大体3分で上がっているとデータ分析をして、五十丁目まで2時間半で上がれると計算した。その通りに行くか？

所々、赤いもみじが見られる。紅葉もまあまあだが終盤で色にあでやかさが見られない。落ち葉の山道をザクザクと歩く。7時30分過ぎの十丁目あたりで太陽が参道を照らして嬉しい。やっぱり、太陽は元気の源だ。十三丁目の肝心坊を通る。人の気配もなく飲料水のショーケースがそのまま出ている。物騒な世の中に珍しいことだ。

お堂も開けたままだ。お参りする方の為だろうか。二十三丁目の中適坊、どこにも名が見つからない。長椅子がいくつもあり、休憩にはピッタリだが通り過ぎてしまった。二十九丁目ですと近隣の山々を眺望できて嬉しかった。

三十一丁目ですと休憩。登り始めてから1時間30分。だんだんと空もちらほら見える高さになってきた。三十六丁目の晴雲坊、ここも名が見つからない。三十七丁目ですと木立の間から富士山が見える。ホッとする。五十までもう少しだ。暫くすると広めの山道に出た。四十六丁目 和光門。ここからが本格的参道のようなようだ。両側に杉がずっと立ち並び一直線になっている。四十八丁目には鐘楼、手水場がある。左手坂を上がると、四十九丁目。

隨身門があり、広場がある。ここからの富士山は絶景だ。春分・秋分の日にはダイヤモンド富士が見えるそうだ。この、隨身門をくぐれば敬慎院(1720m)だが、七面山に向かう。所要時間はおおよそ2時間30分。数字のマジックだ。何丁目と言う数字に励まされて、頑張れるなんて、人間って複雑そうで意外と単純ですね。

ここからは登山者の道だ。南の方向に行くと荷物用のケーブルが見える。その横を通り、登山道に入って行く。大ガレ場を迂回するような山道だ。以前はガレ場の際を通る道を歩いたとCLは言う。確かに今も痕跡はある。そこから覗くガレ場は怖い。

熊笹で覆われている旧道は間違えて踏み外したら命を落とす。それにしても凄い。日蓮大聖人がこの大崩崖を「なないた(七面)がれた」と言い残しているだけあって、一世紀近くガレ続けているらしい。CLが??年前見た形状とは変わっているとか・・・さすがレジェンド！生き字引に近づいてきたようだ。

大ガレを見学し、ようやく七面山頂と書かれた広場に到着。まったく展望がなくつまらない。敬慎院から約50分。三角点もあるが、おかしなことに1982mと刻印してある。えっ？1989mじゃないの？早速GPSで確認したところ、最高峰はもう少し南西の地点だ。

何となく納得がいかないCLとメンバーは探検に行くことにした。CLは磁石と地図、メンバーはGPS。のこのこ行った先は雑木林で草茫々の何にもない所だった。日の目を見ない最高峰は



富士山



隋心門から敬慎院



大ガレ



七面山標識



最高峰



希望峰に向かう

気の毒だ。それより眺望のよい希望峰（1980m）がこの先にあるようなので行って見ることになった。

一旦最高峰から下り、南方面に行く。その山道は下りでとても心地の良く、膝に優しいフカフカの落葉道だ。20分位歩くとぐっと上る。そこを上ると目の前に希望峰と掲げた標識が目に入る。その瞬間、右に視界が全開。素晴らしいロケーション。

山並みが三重に連なっている。一番奥の南アルプスがずらっと見渡せる。立冬が過ぎた11月下旬なのに白くない南アルプスも珍しい。茶臼岳が見える。CLは思わず山の会のメンバーで茶臼岳に個人山行に出かけているUさんにメールしている。無理ですよ！多分電源切ってるから！

東の木々の間から申し訳ないように山頂に薄ら雪をかぶった富士山も見ることが出来る。おまけの山行だったがここまで来て本当に良かった。メンバーのお腹はペコペコらしいが、上り返しがあるから、昼食（ビール）はお預けで、三角点まで戻ることになった。私は休憩の度に補給しているので問題なし。フカフカの道を上り返し皆はよれよれで昼食を摂った。暖かで風もない小春日和のお昼だった。

40分程休憩して、当初の計画より1時間早い12:25分下山開始。大ガレと富士山のツーショットを後にしながら下り始める。上るときには気がつかなかったのだが、藻のような植物が木にぶら下がっている。CLに聞いたところ「サルオガセ」と言う植物らしい。触ると固かった。見た目は柔らかそうだけどドライフラワーのようだ。

30分で隨身門に到着。最後の五十丁目を確かめに隨身門をくぐり階段を下ると立派な敬慎院の本堂の前に五十丁目と書かれた灯籠を発見。ここは宿泊して参拝する施設があり、登山客も宿泊させて頂けるようだ。CLは過去に宿泊したことがあるとの事。お参りをして一ノ池という鶯色に染まった不思議な池を見学してそこを後にした。

裏参道には二ノ池やご神木があるらしいがピストンで表参道を下る。今度は下るのみ。標高差1220mを一気に下る。私は落ち葉のある滑る道は苦手だ。下りの数字のマジックは足が痛いのであまり効果ない。途中で、参拝宿泊の信者さんとすれ違う時に休憩しながらボチボチ下る。

参拝者には個人信者さんグループや、団体の白装束を纏った信者さん有りで、驚いた。宗教は凄いい。「南無妙法蓮華経」と太鼓を叩き、唱えながら上って来る迫力に、どこに視線を置いて良いやら、こちらがどぎまぎして何か変だった。唯の登山客で御免なさい！精神修養が足りずお粗末でお恥ずかしい。精神ばかりでなく身体修行も足りず、この下りには大腿筋が悲鳴をあげて、本当に大変厳しい下りだった。

先頭のCLからはかなり遅れたが、参道入り口の門が見えた時は本当に安堵した。2時間の下りが、ずいぶん長く感じた。重い足を引きずりながら、大きな白糸の滝とお萬の方像を見て帰路に着いた。標高差だけで厳しいかどうか判断できないと思ったが、やっぱり下りは標高差のとおり大変でした。何とか上ることが出来、CLやメンバーに感謝です。

その他の記述（後藤）

1. 朝、写真の信者のご婦人が二名下って来た。昨日のご来光はサイコーだったとのこと。駿河湾が見えたといったがホント??ちなみに敬慎院は一泊二食で5200-。登山者も利用可。
2. 朝、下って来るお坊さんに会った。以前、見た「高僧の籠運搬」を聞いたら、大きな行事の時は、今もやっているという。運ぶのは近くの集落の方で、仕事として担っているとのこと。
3. 「七面山大ガレ」は、日本三大ガレの一つと思った。他は何処?と調べたら・・・。

・・・山の斜面が崩れた場所のことを崩壊地と呼ぶが、中でも「大谷崩れ」（静岡県）、「鳶山崩れ」（富山県）、「稗田山崩れ」（長野県）を日本三大崩れという。私が現地を訪ねたことがあるのは、そのうち「大谷崩れ」だけだが、崩壊地の巨大さと砂防ダムを埋め尽くす膨大な量の岩に唖然とした。崩壊したのは今から300年前の宝永4年（1707）のこと。大地震により、山の斜面が高さ800mに渡って崩れ、これまでに約1億2000万立方メートルに及ぶ土砂が崩れ落ちたという。今も崩壊を最小限に食い止めるための大規模な工事が行われており、「日本三大崩れ」たる所以も理解できる。

なお「日本三大崩れ」には入っていないが、富士山の「大沢崩れ」も有名。ここも巨大な崩壊地で、岩が落ちる音が時折聞こえてくる・・・で、七面山は、入っていません！！

4. 七面山頂上の標高板が1989mだったが、これは誤り。三角点は、1983m。
5. 希望峰から展望は良かった。ただ、3000mに雪が全くないのに驚いた。ここの岩鏡は凄い。周辺の原生林は素晴らしい。
6. 昼食時、次週の山岳マラソン下見の若い衆と話。今日は、1時間半で上ったという。当日、速い人は1時間で上るらしい。そして裏参道を角瀬に下るようだ。トータルで2時間半くらいという。敬慎院のお坊さんも一人出るそうだ。また、お坊さんも通常、敬慎院まで1時間半で上るそうだ。
7. 敬慎院に着いたら、本堂にお坊さんが、お客の見送りで5～6名ズラ～と並んでいて、笑ってしまった。
8. 上って来た団体さんは、千葉の立正佼成会の皆さんで、老若男女79名。ちなみに、日蓮上人は千葉で生まれた。別に会った二人のオジサンは、毎月上っているそうだ。50回の記念杖を持参していた。
9. 白糸の滝は、カメラに入り切れない、大きく立派な滝。家康も側室、お萬の方像が山を見ている。
10. 七面山記録見たら、1969年3月23日＝間沢・ヨゴ沢、同年6月7～8日＝大滝沢を上っていた。
ネット参考記録 <http://sonosoranoshitade.web.fc2.com/sonosoranoshitade6/page006.htm>
11. 上河内岳のりさんには留守電を入れた。伝わったようです。

参加者の一言

沖 「修行の山らしくハードでした。希望峰へのふかふか道最高。もう一回行く？下りがなければ（登りだけなら）もう一回もいいかも。」

勝又 「上りの歩き易さが、下りの厳しさと相殺されてしまいました！」

秋山 「今回の山行が自分にとって厳しいものになることはわかっていたので、『あわてない』ということを決めていた。達成度は秘密。結果的に、行きも帰りも一人旅になってしまったけど、これが自分の実力だから仕方がない。参加の皆様、お疲れ様でした。」

後藤 「久しぶりの七面山だった。相変わらず上り易い。これは大きな標高差を信者さんが上るための工夫。信者さん達も元気イッパイ。我々も、元気を頂いた」



千葉の団体さん



白糸の滝とお萬の方像



七面山頂上

七面山敬慎院の山門の名前（隨身門）を調べていたら、春分・秋分には富士山山頂からのダイヤモンド富士になるとのことでした。また、富士山・身延山・七面山・出雲大社がレイラインであるとのことでした。偶然であるとは思いますが、暇に任せて調べてみました（下表参照方）。

- ・確かにほぼ同一緯度（身延山山頂がちょっと外れている？）
- ・七面山山頂が一番富士山頂から太陽が登りそうだが山頂の眺望が悪すぎますね。
- ・春分・秋分にダイヤモンド富士が見れるのは、隨身門前がやはり絶好のようです。
- ・レイラインは後から誰かが見つけて言い出したのでしょうかね。

七面山 レイライン 検証

緯度 1 秒の距離（北緯 35 度での距離）(m) →			30.82		
場所	緯度 (北緯)	富士山緯度 との緯度差 (秒)	富士山緯線 からの距離 (km) A	富士山剣ヶ峰 からの距離 (km) B	距離割合 (A/B) (%)
富士山剣ヶ峰	35 度 21 分 38 秒	0	0.00	0.00	-
身延山久遠寺	35 度 22 分 55 秒	77	2.37	27.59	8.60
身延山山頂	35 度 23 分 51 秒	133	4.10	28.53	14.37
七面山敬慎院隨身門	35 度 22 分 36 秒	58	1.79	33.51	5.33
七面山山頂	35 度 22 分 09 秒	31	0.96	34.23	2.79
出雲大社	35 度 24 分 07 秒	149	4.59	548.30	0.84